

精神科診療を要する高齢の内科入院患者のフレイルに関する研究のお知らせ

帝京大学医学部附属病院では以下の研究を行います。

本研究は、倫理委員会の審査を受け承認された後に、関連の研究倫理指針に従って実施されるものです。

研究期間：2019年 4月 20日 ～ 2020年 2月 1日

〔研究課題〕

コンサルテーション・リエゾン精神科診療におけるフレイル患者に関する調査

〔研究目的〕

人口の高齢化に伴い高齢者医療の体制整備が急がれます。高齢の患者様は複数の慢性疾患を抱え、身体機能や精神機能が低下した状態(フレイル状態)であるが故に、治療のゴールや方向性など、様々な視点から医療を考える必要があります。本研究では精神科診療を必要とする内科入院中の高齢者患者様の実態を調査し、その中でも特にフレイル状態患者様を中心に検討します。

〔研究意義〕

精神科診療を必要とする内科入院中の高齢者患者様、特にフレイルの実態を調査することで、これからの高齢者医療における体制整備の手掛かりになると考えます。

〔対象・研究方法〕

2017年3月から2018年4月までの間に内科から当科に診察依頼(コンサルテーション・リエゾン診療)がなされた75歳以上の高齢入院患者様を対象に診断、入院前のフレイルの有無、在院日数、転帰などを調査すると共に、フレイル患者と非フレイル患者の比較も行います。

〔研究機関名〕

帝京大学医学部附属病院メンタルヘルス科(精神神経科学講座)

〔個人情報の取り扱い〕

個人情報の取り扱いについては、使用するデータを匿名化し、統計的に処理するため個人が特定できることはありません。また、データの保管や廃棄も含めて、研究の全ては本学の倫理委員会の審査を得て行います。

対象となる患者様で、ご自身の検査結果などの研究への使用をご承諾いただけない場合や、研究についてより詳しい内容をお知りになりたい場合は、下記の問い合わせ先までご連絡下さい。

ご協力よろしくお願い申し上げます。

問 い 合 わ せ 先

研究責任者：精神神経科学講座 病院准教授 赤羽晃寿

研究分担者：精神神経科学講座 大学院生 井川春樹

住所：東京都板橋区加賀 2-11-1 TEL:03-3964-1211 (代表) [内線 33710]